

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所プランカ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>身体の障害の方や車イスを使用されるご利用者様が利用しやすい設備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い入口(玄関は三枚ドア)と安全な移動ルートの確保として段差のない広めな通路。 ・介護用の入浴設備(電動リフトチェアを使用して安全に入浴が可能) ・バリアフリートイレ ・スロープの角度は緩やかに設計されている 	<p>車イス利用の方が動きやすい施設となっているため、その設備を活かし、日常生活動作の向上を図っている</p> <p>入浴設備が1か所であり、一人ずつとなる事から毎日の入浴は難しい為、夏場はシャワー浴や清拭など衛生面維持することや冬場は冷えない様に足浴を紹介させていただくなどしている</p>	<p>個々によって可動域等変わるため、既存の設備では一人で出来る事が難しくなってしまう場合、個々に合わせた自助具等の利用を考えていく</p>
2	<p>外出の支援を実施する際の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のニーズ把握 ・本人の意思の尊重(意思決定支援) ・リラックス出来る外出先選び ・体調管理をしつつ、安心して外出できる点 ・外出先での環境調整 ・小まめに休憩を入れる事 	<p>社会性を学ぶために、公共の場の過ごし方、お店に買い物へ行った時のルールを学ぶ等、今後必要なスキルを習得する為、個々に必要な支援を入れて行っている</p> <p>18歳になる利用者もいるため、意思決定ができるよう、本人たちがイメージできるような情報提供を工夫している</p>	<p>外出が難しい方もいらっしゃるが、色々な経験をしてもらうために、施設内でも経験を通して学べるイベント等を継続して実施していく</p>
3	<p>個別課題の週を設け、個々に合わせた支援を提供している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション支援 ・運動機能改善の支援 ・感覚統合支援 ・社会性情緒の支援 ・生活面での支援 ・意思決定へ向けた意志表出支援 	<p>個々によって集中できる時間が異なり、短い時間でもご本人が積極的に“やってみたい!”とする姿勢を大切に、時には遊びなど取り入れ前向きな気持ちを維持しつつ、自然に取り組めるような環境作りを行っている</p>	<p>アセスメントの方法を誰もが出来る内容にし、人によって評価に差異が出ないような仕組み作りを行う</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>定員数が5名(設備上)となっている事から、希望される全ての方を受け止めることが難しくお待ちして頂く事がある</p>	<p>周辺におけるサービスの不足があり地域的な課題と感じている点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関へニーズを共有する事で、地域に不足しているサービスである事を発信し続ける事 ・学年ごとに希望している人数など把握するために、支援学校との連携を続ける事
2	<p>ご利用希望の方の年齢層が幅広い為、活動内容が年齢的に低くなってしまったり、その反対に高くなってしまったりする傾向がある</p>	<p>全年齢での活動内容と個別化した対象年齢での活動内容をわける必要がある。その為、集団での活動に偏る傾向がある事</p>	<p>活動内容そのものに注力するだけでなく、個別のアセスメントの見直しをして、より社会への関心が高められるような前向きな支援を行っていく</p>
3	<p>保護者同士のつながりが持てる場を提供しているが、きょうだい同士でのつながりを持てる場作りが行えていない</p>	<p>兄弟(姉妹)だからこそ感じる、思うことがあると考えられるが、ご兄弟の年齢層も広く、焦点を定め切れていない</p>	<p>兄弟(姉妹)同士の意見交換の場をどのような形で設けることが必要なか等アンケートなど通して聞いていく。その他、事業所としても支援者間で出来るような事をイメージする機会を作る。</p>

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ブランカ

公表日 2026年3月20日

利用児

童数 2026年2月1日 18名(未利用1名)

回収数 12人

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	3	1	0	部屋がもう少し広いほうが良い	家具などの配置を工夫し、少しでも広く活動室を使えるよう検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	4	0	0	男性職員が少ないかなと感じます	現在、男性職員を含め、職員の募集をしております。今後も継続して募集をおこなっていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	0		

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族	11	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	5	1	5	特に必要だと思わない	社会性を学ぶ際に地域との交流は必要と考えています。今後は近隣の施設などと協力できる体制作りを目指していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	0	2		
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	0	0	0		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2	0	0		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	0	1	保護者会はあるが、兄弟への支援があるか分からない	保護者会や親同士の交流の機会は継続して提供しておりますが、きょうだい同士の交流の機会については、現状では十分に設けられていない部分があるかもしれません。今後きょうだい同士が交流できる機会がどのように設けると良いのか等ご意見やご提案がありましたら、お気軽にお聞かせください。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速に対応していると思いますか。	10	2	0	0		
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0		
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実	12	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	3	事故が発生したことがないのでわからない	万が一事故等が発生した場合には、説明し、迅速に対応させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所ブランカ
------	-------------

公表日

2026年 3 月 20 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易マットを使用し、横になれるスペースを確保するようにしている。 ・使用中でない車椅子は、別室（多目的室）に仮置きしている。仮置きした車イスについてはいつでも戻す事が出来る様にし、活動室のスペースを確保する事で有意義にご使用いただけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家具の配置などを工夫し、活動スペースを確保する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・男性職員が現状1名に対し、男性利用者が登録数の半数以上のため、男性職員の増員をおこなっていく ・支援の充実を図るため、職員募集を行い、職員数を増やしていく

・ 体 制 整 備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日の清掃・消毒に勤めている ・毎日の清掃や季節に応じた壁面を作成するなど工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4		・個別対応するための部屋は設けていないため、設置の必要性を検討する
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		改善内容によっては見直しの頻度が高くなってしまい、継続が難しいこともある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		利用頻度が少ない方に対しての定期的なアセスメントが難しい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確	4	0		
適切	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	本人の意思の選択ができる機会を作るようにしている		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4			

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者交流会（つばやきカフェ）を開催している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ	4	1		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知すると	5	0		
非常	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		

吊 時 等 の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1		